



東邦大学

東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科/臨床生理機能検査部

講師/部長 たか だ のぶ お
高田 伸夫



慢性肝臓病のこれから

ウイルス肝炎はほぼ克服されましたが、まだまだ怖い病気です

2017年10月1日発行

1. はじめに

これまで消化器内科 講師として主に肝疾患診療に従事してきましたが、この4月より臨床生理機能検査部 部長を拝命し、さらに皆様のお役に立てる診療を目指していきたくと考えております。

慢性肝炎とは、様々な原因による肝臓の継続的な炎症によって肝細胞の破壊と臓器の線維化を繰り返し最終的に肝硬変・肝臓癌へと進展する病気で、肝臓癌は我が国の死亡原因の4位を占めています。

2. ウイルス性慢性肝疾患の診療の現状

これまでは、ウイルス(B型肝炎・C型肝炎)によるものが慢性肝疾患の80%以上を占めていました。これに対して、B型肝炎に対しては核酸アナログ、C型肝炎に対してはDAA(直接ウイルスに作用する薬ですが適当な日本語がなくこう呼ばれます)が開発され、ウイルスの抑制・消失による肝炎の沈静化・治癒が可能となり、2010年頃より肝細胞癌死亡者数の減少が見られるようになりました。特にC型肝炎ではDAAの治療の登場で95%以上の方が治癒するようになりました(図1)。ただし、肝炎は治癒しても肝線維化の強い人は発癌リスクが残存する

可能性があるといわれており、ウイルス肝炎と診断された場合は線維化が進行する前の早い時期に治療を開始することが重要です。

3. ウイルスによらない慢性肝疾患について

その他の慢性肝疾患の原因としては、アルコール・脂肪性肝疾患・薬剤・自己免疫異常・原因不明によるものがあります。ウイルス性肝炎のコントロールが改善につれて、これらが原因の肝細胞癌症例の比率が徐々に増加しています。なかでもアルコール性肝疾患や脂肪性肝疾患では発癌のリスクが正常人の4~5倍(図2)といわれて今後注意が必要で、特に発癌リスクの高い非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)は現在300万人程度存在するといわれ、今後大きな問題となってくることが予測されます。一方で、この脂肪性肝疾患は、糖尿病・高血圧や心筋梗塞などの動脈硬化性疾患・各種癌との関連も指摘されており、高血圧などの慢性の病気を持っている方の中には知らないうちに肝臓の病気が進んでいる可能性もあり注意が必要です。

4. 脂肪性肝疾患の検査・治療上の問題点と現時点でやるべきことは

脂肪性肝疾患治療の基本はダイエットと

基礎疾患のコントロールが主体で、本格的な治療薬は存在しません。しかしこれに対する治療薬の開発は始まっており、これが使用できるようになるまで肝線維化の進行を抑えることが大切です。

また、この疾患を診断するための血液検査や画像検査も充分には開発されていません。現在でも確定診断のためには肝生検(出血の危険性があり入院で施行)が必要で、この疾患を見つけにくくしているのが現状で、より正確に脂肪肝と肝線維化を診断する検査法の開発が望まれています。

5. 臨床生理機能検査部としての取り組み

臨床生理機能検査部では、循環器機能検査、呼吸機能肺機能検査、神経生理機能検査、耳鼻科領域検査、超音波検査と幅広い領域を熟練した20名の検査技師が中心となって運営し、常に新しい機器と技術の導入にも尽力してきました。その検査実績は昨年度約79,000件に達しています。その中でも超音波検査は当検査部の大きな柱で、昨年は2万件の超音波検査を行っております。

肝疾患の有力な診断ツールである腹部超音波検査は、今まで脂肪肝の診断は可能でしたが最近肝線維化の評価も可能になりつつあります。当検査部でもより簡便で正確な脂肪性肝疾患診断が可能となるよう取り組んでいます。

2017年7月から腹部超音波検査の直接予約を開始し、地域の医療機関からのご紹介で気軽に検査を受けていただけるようにしております。積極的にご利用いただき、一人でも多くの脂肪性肝炎患者の発見のためにお役に立てればと願っております。

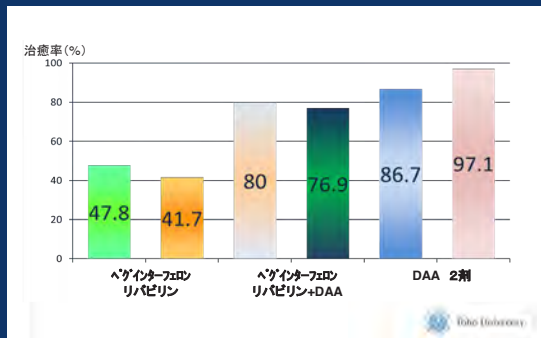


図1 当院での1型C型肝炎ウイルスに対する治療別治療成績の推移

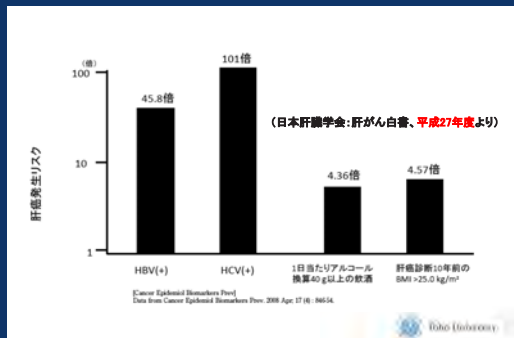


図2 原因別肝発癌発生リスク

消化器内科	月	火	水	木	金	土
午前(予約制)	高田	高田				
紹介患者事前診療予約	予約可	予約可	予約可	予約可	予約可	

※消化器内科を受診の際は、紹介状をご用意ください。
※紹介患者事前診療予約をご利用の際は、紹介状をご用意の上お問い合わせください。

発行 広報委員会・東邦佐倉会事務局

〒285-8741 千葉県佐倉市下志津564番地1 / TEL:043-462-8811(代) / FAX:043-462-8820(代) / URL: http://www.sakura.med.toho-u.ac.jp

診療についてのお問い合わせ先

医療連携・患者支援センター

月~金曜日 9:00~17:00 土曜日(第3土曜日除く) 9:00~13:00

TEL 043-462-8770 FAX 043-461-2721



東邦大学

東邦大学医療センター佐倉病院 循環器内科

講師 しみず かずひろ
清水 一寛



心・肺・血管機能の改善で、こころに元気を取り戻す!

2017年10月1日発行

循環器内科 講師および臨床生理機能検査部 副部長を務めさせていたしております。今回は、私の携わる分野を紹介させていただきます。

A man is as old as his arteries. 人は血管から老いる

これは、今日の内科学の祖であるウィリアム・オスラー先生(William Osler 1849-1919)の有名な言葉です。

東邦大学が開発に携わり、現在世界中で広く使用されるようになった血管弾性指標 Cardio Ankle Vascular Index (CAVI) 「製品名バセラ FUKUDA 電子(株)」は、年齢と強く相関し(図1)、生活習慣病の悪化で CAVI 値が上昇し、いわゆる体に良いことをすると CAVI 値が低下することが様々な臨床研究から明らかになってまいりました(図2)。

まもなくオスラー先生が亡くなられて 100 年となりますが、オスラー先生の言葉が正しかったことが東邦大学発祥の生理機能検査装置で科学的に証明されてきたこととなります。

生理機能検査部は診療のナビゲーター

各種超音波は、生体の状態を可視化評価できますし、CAVI 測定は血管弾性を非侵襲的に数値化することができます。生理機能検査部が提供するこれらの情報を基に、循環器内科医師の診療が行われていきます。

現在循環器内科は野呂教授を筆頭に、総勢 14 名(うち 9 名は循環器専門医)で診療にあたっております。生活習慣病の初期評価、不整脈診療、心不全診療、動脈及び静脈の血栓症診療、様々な循環器疾患のリスクとなる睡眠時無呼吸症の診断および治療導入などほぼ全ての循環器診療に対応できる体制が整っております。

東邦大学医療センター佐倉病院 循環器内科入院治療の3本柱

- 冠動脈や下肢動脈に対するカテーテル血管形成術、肺動脈拡張術といった血管内治療
- 電気生理学的不整脈診断や焼灼手術、埋め込み型デバイスを使用した不整脈治療
- 入院患者さんに対する急性期心臓リハビリテーション
各分野とも専門医がリーダーとなり、種々のメディカルスタッフと協力し活動しております。

また今年度より、国が定める難病指定疾患の慢性血栓性肺高血圧症に対する肺動脈バルーン拡張術を東邦大学の3つの医療セン

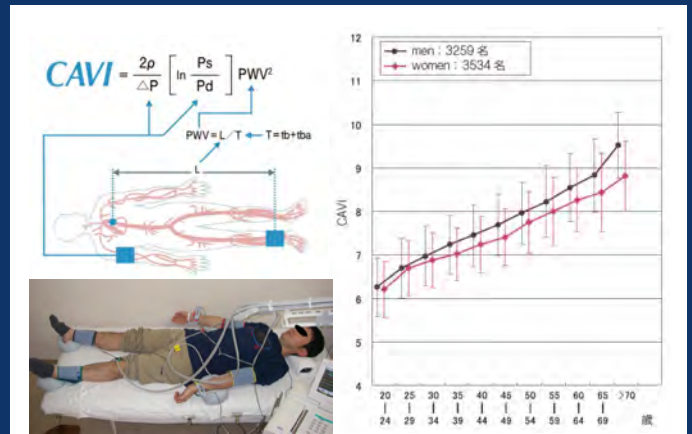


図1 CAVIの原理および年齢別・性別による成績

<CAVI値 ↑>

- ・加齢
- ・慢性腎臓病
- ・脳梗塞
- ・狭心症
- ・糖尿病
- ・高血圧症
- ・高尿酸血症
- ・脂質異常症
- ・肥満
- ・メタボリック症候群
- ・睡眠時無呼吸症
- ・喫煙
- ・精神的ストレス
- など

<CAVI値 ↓>

- ・減量
- ・血糖管理
- ・血圧管理(ARB>CA拮抗剤)
- ・脂質管理(スタチン、EPA)
- ・禁煙
- ・運動
- ・閉塞性睡眠時無呼吸症に対するCPAP治療
- など

清水一寛 白井厚治:循環器内科 Vol.78/No.3 p236-241, 2015

図2 CAVIを変動させる既知の因子

ター循環器内科部門(大森・大橋・佐倉)が協力し取り組み始めました。カテーテル治療が必要な場合、千葉県在住の方はこれまで都内に行く必要がありましたが、当院でも対応可能になっております。

心・肺・血管機能の改善で、こころに元気を取り戻す!

血管機能を衰えさせるものは、加齢に伴う動脈硬化です。年齢は戻すことはできませんが、血管機能は生活習慣病の管理で改善させることができます。体の機能回復は、こころのリハビリにもつながるのではないのでしょうか?

当院は、佐倉市にある唯一の大学附属病院であり、設備やスタッフにも恵まれておりますので、地域の皆様が元気に年を重ねられるよう東邦大学医療センター佐倉病院 循環器内科および臨床生理機能検査部は、自己研鑽に努めながら地域医療に貢献していきたいと考えております。皆で元気のある地域を作っていきましょう。

循環器内科	月	火	水	木	金	土
初診・再診	清水 高橋	野呂 中神	清水 川添	野呂 美甘	飯塚 清川	交替制
静脈血栓塞栓症外来	川添	佐藤	相川	岩川	杉崎	
				清水		

※循環器内科を受診の際には、紹介状をご用意ください。

診療についてのお問い合わせ先

医療連携・患者支援センター

月～金曜日 9:00～17:00 土曜日(第3土曜日除く) 9:00～13:00

TEL 043-462-8770 FAX 043-461-2721